

気管支動脈造影・動脈塞栓術 入院診療計画書

注：病名、入院期間は現時点で考えられるものであり、今後検査等をすすめていくにしたがって変わる
 こともあります。以下について主治医または看護師から説明をうけました

説明日 年 月 日

患者署名欄(ご本人が困難な場合家族の署名)

病名:

主治医氏名:

担当看護師:

(この用紙は入院の時にお持ち下さい)

氏名:

	予約日(外来) /	入院日(治療前日) /	2日目(当日)<治療前> /	<治療後> /	3~4日目(翌日・退院) /
達成目標		・治療上の必要性が分かり、不安なく治療が受けられる ・中止薬が分かる		・苦痛時訴えられる ・圧迫、疼痛、安静による苦痛が最小限にとどめられる ・褥瘡がない	・合併症の出現がない ・日常生活の注意点がわかる ・不安に思っている事を言える
治療・薬剤 (点滴・内服)	・中止薬 / から ・入院時は現在服用現在服用されている薬とお薬手帳を持参してください。(他院処方ものを含みます)	・中止薬以外は今まで通り飲んで下さい ・状態により21時から点滴をする場合があります。	<p>時頃の治療です</p> <p>糖尿病の薬など当日中止する薬がある場合があります。看護師の指示に従ってください</p> <p>・(中止薬:)</p> <p>・検査前に点滴をします (午前の検査:7時前後 午後の検査:12時前後)</p>	・治療室から引き続き点滴をします ・お薬の服用は医師の指示に従ってください	・お会計後に次回の診察券、外来予約票、退院処方薬をお渡します
処置	・自宅で体毛の処理をさせていた ・部位()	・体毛処理の確認をさせていただきます。必要に応じて体毛処理をします ・動脈に印をつけます ・身長・体重を測ります	・排尿のための管を入れさせていただきます	・帰室直後、1時間後、3時間後、6時間後に脈拍・血圧・体温を測り、出血の有無の確認をします 尿の管は翌日まで挿入します。状況により早く抜く場合があります	・穿刺部の消毒・処置をします
検査	・採血 ・心電図があります	・X線の検査があります			
活動 安静度		・制限はありません 	・トイレ、洗面以外は病棟で安静にしてください	・治療後の安静度は治療経過・穿刺部位によって異なります。詳しくは看護師がその都度お伝えいたします。以下は目安です 治療室からストレッチャーで帰室後の場合 ・帰室～2時間までベット上で仰向けで動く事はできません ・3時間後より看護師が向きを変えたり、ベッドの背もたれを上げることが出来ます ・6時間後はベッドの上でご自身で動く事ができます。	・制限はありません 
食事		・特別な栄養管理の必要性(有・無)	・朝食は食べられません。起床後は何も食べないでください。水分はお薬の時だけにしてください。	・帰室時より飲水ができます ・食事は2時間後からとれます	
清潔		・入浴できます	・入浴できません	・入浴できません	・シャワー浴できます ・退院後は入浴ができます
排泄		・特に制限ありません	・トイレに歩いていけます ・治療の前に尿に管を入れます	・翌日まで安静の場合、尿の管を抜いてからは尿器を使用します 便は便器を使用します	・トイレに歩いていけます
患者及び 家族への説明 生活指導	・入院時、この用紙(入院診療計画書)と同意書をお持ちの方はご持参ください。	・主治医または放射線科よりご家族の方に説明があります。 ※既に外来で同意書と共に説明があった場合はございません ・鼠頸部穿刺の方はT字帯、ストローのご用意をお願いします	・入れ歯、眼鏡、時計、指輪、ネックレスを外してください ・治療中ご家族の方は病室でお待ちください ・貴重品はご家族がお持ちください	・医師からの治療結果の説明は、治療説明時に医師に確認下さい。 (医師の都合により退院日になる事もあります) 	・治療の翌日退院のかたもいらっしゃいます。その場合事前に、医師からご説明があります。また、翌日退院を予定していても治療後の状況によっては退院が遅延することもあります。その都度医師からご説明があります。